

小中学校入学式

4月7日、桜の花びらが散る中、市立小中学校で入学式が開催されました。今年度の新生は市立小学校9校で383人、市立中学校3校で367人です。

新生たちは、新しい担任の先生から名前を呼ばれると、少し緊張した表情をみせながらも元気いっぱい返事をしていました。

下妻中学校の新生代表の篠崎梨乃さんは「一日一日を大切に過ごして3年間を実りある中学校生活にしていきたいです」と誓いの言葉を述べました。

☒ 学校教育課



①



②



③

①高道祖小学校の新1年生 ②元気いっぱいの返事で起立(高道祖小学校) ③下妻中学校の新1年生

令和4年度地域おこし協力隊等活動報告会

下妻市に移住して地域活性化に携わる地域おこし協力隊および地域活性化起業人が主催する活動報告会が3月25日、かふえまる café & studio(下妻乙)で開催され、地域住民や関係者など16人が参加しました。本市では令和5年3月末時点で、地域おこし協力隊3名と地域活性化起業人1名が着任しています。

主に筑波サーキットを中心に下妻の農業と食の魅力を発信する活動を行う荒川隊員からは、農家から直接仕入れる朝どれ野菜の新鮮さをPRすることに手応えを感じてきており、野菜ソムリエの資格を生かして、ふるさと納税の返礼品の開発にも意欲的に取り組んでいきたいとの報告がありました。

また、まちメディア「サヌマー」で、下妻に関わる人を深掘りし、まちの情報発信に力を入れる宮澤隊員と地域活性化起業人の品田さんからは、下妻のファンを増やすための斬新なアイデアの提案があり、本市に関わる活動人口を増やしていきたいとの報告がありました。

これらの報告を聞いた菊池市長からは、「下妻をもっと活性化させるために、市と協力し合いながら頑張ってほしい」と熱いエールが送られました。

活動報告会の後には、参加者との交流会も開催され、令和5年度の活動に向けた活発な意見交換が行われました。

下妻市地域おこし協力隊フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/shimotsuma.kyouryokutai/>

☒ 企画課



地域おこし活動について発表する隊員の様子

下妻砂沼桜まつり

桜の花が見ごろを迎えた4月2日、砂沼湖畔で“下妻砂沼桜まつり”が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響から4年ぶりの開催でしたが、約4,000人の人出となり、大変な賑わいとなりました。

観桜苑のステージでは、大町はやし保存会の演奏や、カラオケ大会が行われ、砂沼南岸のさん歩の駅サン・SUNさぬまの会場でも、売店、キッチンカー、ワークショップなど、多くの出店がありました。

筑西市から来た家族連れの方は、「コロナ以来の久々のイベントを楽しみに来ました。花もきれいでよかったです」と話していました。☒ 商工観光課



②

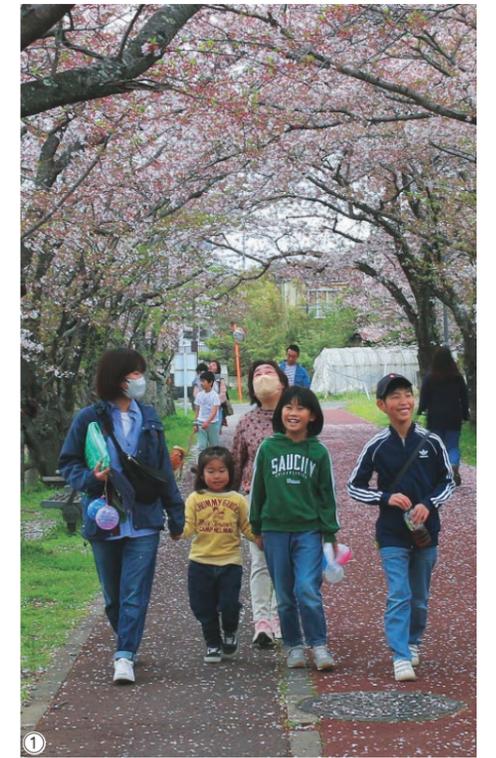


③



④

①満開の桜の下を歩く家族連れ ②観桜苑のステージ ③まつりを楽しむ親子 ④会場内ではキッチンカーなど多くの店が出店(さん歩の駅)



①

多賀谷時代まつり

4月9日、晴れ渡る青空の下、多賀谷城跡公園で“第14回多賀谷時代まつり”が開催されました。

このイベントは、戦国時代にこの地を治めていた多賀谷氏に思いを馳せ、当時の歴史を振り返ることを目的としており、コロナ禍でイベントの中止が続いていましたが、今年は4年ぶりの開催となりました。当日は、市内外から多くの来場者が訪れ、家族連れなどで賑わいました。

ステージでは出陣太鼓や下妻一高応援団の演武などが行われ、川越藩火縄銃鉄砲保存会による「古式火縄銃演舞」では、会場いっぱいに響く銃声に、観客からは大きな歓声が上がりました。

実行委員長の川澄次男さんは、「行政・警察・市民が一体となり安心安全な下妻市に、全員が同じ気持ちで“がんばろう下妻”として盛り上げていきたい」と話していました。

☒ 商工観光課



③

①ステージでの出陣太鼓 ②迫力の古式火縄銃演武 ③甲冑姿での武者大名行列



①



②